

気仙沼管内の話題や宮城県公所が取り組んだ事業を定期的に紹介します。

令和4年7月豪雨による災害復旧工事が完了！（気仙沼土木事務所）

令和4年7月豪雨により被災した、気仙沼土木事務所が管理する道路・河川施設、42箇所について、災害復旧事業の早期完遂に向け工事を進めてまいりました。令和6年9月に国道398号の道路災害復旧工事、大川の河川災害復旧工事が完成したことで、令和4年7月豪雨による管内全ての災害復旧工事が完了を迎えることとなりました。

これまで地域の皆様、関係者の皆様、道路を御利用の皆様には多大なる御理解と御協力をいただきましたこと改めて御礼申し上げます。

復旧延長 L= 123.5m
舗装工 A= 899m²

復旧延長 L= 74.6m
護岸工 A= 356m²



国道398号（南三陸町志津川字御前下）



大川（気仙沼市東新城）

令和6年度ドーロ・クリーン大作戦を実施しました（気仙沼土木事務所）

令和6年8月1日（木）、「道路ふれあい月間」の活動として、土木事務所管内の県管理国道及び県道4路線約23kmにおいて、道路の環境美化及び不法投棄防止の啓発を目的に「ドーロ・クリーン大作戦」を宮城県建設業協会気仙沼支部との共催で実施しました。

作業当日は気仙沼地区、気仙沼大島地区、南三陸地区（志津川、歌津）の地区毎に分かれ、酷暑の中、約100名が清掃活動に参加し汗を流しました。

毎年8月は「道路ふれあい月間」となっており、道路を利用している人々に改めて道路とふれあい、さらには、道路を常に美しく、安全に利用する気運を高めることを目的に様々な活動が行われます。これを機会に道路の重要性を再認識するとともに、道路の正しい利用に努めましょう。



宮城県建設業協会気仙沼支部
小山支部長のあいさつ



気仙沼地区清掃状況



南三陸地区清掃状況

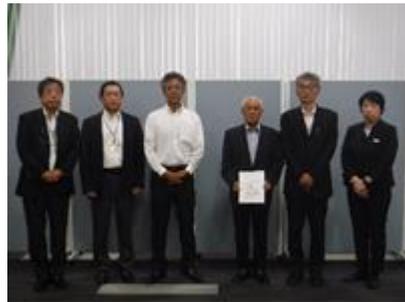
スマイルサポーターを認定しました（気仙沼土木事務所）

県では、県が管理する道路・河川・海岸・港湾において、清掃や除草、花壇への植栽などの活動を定期的に行い、良好な環境づくりに積極的に取り組むボランティア団体や企業等をスマイルサポーターとして認定し、市町村と協力して必要な支援を行っています。

このたび、「有限会社吉田建設工業」様をスマイルビーチサポーター（海岸）として認定し、令和6年8月27日（火）に認定証交付式を行いました。今回の認定により、気仙沼土木事務所管内において、道路では25団体、河川では10団体、海岸では3団体、港湾では1団体、の合計39団体（重複を除くと38団体）にスマイルサポーター活動をいただいております。



認定賞授与の様子



記念撮影の様子

サンフレッシュ小泉農園がみやぎ園芸振興大賞を受賞

（気仙沼地方振興事務所農業振興部）

本県園芸品目の生産や流通、加工及び販売など園芸振興に貢献している団体等を称える「第6回みやぎ園芸振興大賞表彰」において、気仙沼市の農業法人「株式会社サンフレッシュ小泉農園」が大賞を受賞されました。

同法人は、東日本大震災後、地域の農業を荒廃させず次世代へ引き継ぐため、今野代表が中心となり、地域の担い手として水稻栽培と大規模施設によるトマト栽培を行うため設立。トマトは、約1年間収穫する長期多段取栽培で、環境制御システムにより温度や炭酸ガス濃度、灌水量、日射量等を制御するとともに、得られたデータを栽培管理にフィードバックしています。平成30年にはトマトでGLOBALG.A.P.認証を取得しています。

栽培面積、販売量とも県内でトップレベルであり、生産拡大と被災地における復興に大きく貢献したことが評価されました。



（株）サンフレッシュ小泉農園のマスコットキャラクター「波乗りトマト」と今野圭市代表取締役（右側）



みやぎ園芸振興大賞表彰受賞者との記念撮影
（株）サンフレッシュ小泉農園は前列左から1番目）

南三陸町の大粒ぶどう「しおかぜ葡萄」販売開始

(気仙沼地方振興事務所農業振興部)

南三陸町の新たな農産物のブランドとして「シャインマスカット」「藤稔(ふじみのり)」などの生食用の大粒ぶどう品種が「しおかぜ葡萄」として販売開始されました。

昨年11月に町内のぶどう生産者が集まり「南三陸大粒ぶどう協議会」を設立。環境負荷低減の取組(化学肥料・農薬の使用低減、町内資源を活用した施肥、土づくり等)の実施や房の重量や見た目など統一の基準による高品質な大粒ぶどうの生産・販売、ブランド化による生産拡大・認知度向上を目指しています。

9月7日(土)に南三陸町の「さんさん商店街」で販売会を開催し、大変にぎわっておりました。今後も町内及び近隣の直売所等で販売していますので、是非一度ご賞味ください。



販売促進用リーフレット



販売会の様子



ブランドロゴ

小泉公民館にてクマ対策講習会を実施しました。

(気仙沼地方振興事務所林業振興部)

今年の6月から7月にかけて気仙沼市・南三陸町ではクマの出没情報が例年よりかなり多く、気仙沼市本吉町の小泉公民館付近でもクマの出没がありました。このため、小泉公民館からの依頼で7月13日(土)に「クマの基本的な生態や対策についての講習会」を開催しました。講習会では、基本的にクマに遭遇しないこと第一として、熊鈴などの音になるものの携帯や管内の出没状況について随時確認することを伝えました。また、生ゴミ等の誘因物の除去やクマが身を隠せないように刈り払いをするなどの環境整備によって人里への侵入を減らすことができることなどを説明しました。

8月以降は、クマの出没目撃件数は少なくなっていますが、秋になると、冬ごもりに備え、餌を求めて行動を活発化する可能性がありますので、引き続き、熊鈴等の携帯をしてクマに遭遇しないように注意してください。管内のクマ出没情報は気仙沼地方振興事務所林業振興部HPに最新情報を随時更新し、掲載していますのでご参考にしてください。

(<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-tihouken-r/kuma-kesenuma2024.html>)



講習会の様子①



講習会の様子②



クマ出没情報

「気仙沼メンマ」生産拠点拡大中です!!

(気仙沼地方振興事務所林業振興部)

現在、輸入品が大半を占めているメンマについて、使われることの無かった地元の幼竹を原材料とした「気仙沼メンマ」の商品化に向けて、気仙沼市内の生産者と一緒に取り組んでいます。

昨年度は、乾燥工程で天候不順に見舞われた令和4年度のリベンジに成功し、約6.5kgのメンマを生産することができ、販売面ではラーメン店の限定イベントでの具材として初めて使用されるなど、生産者の励みとなりました。

今年度は従来行ってきた気仙沼地区のほか、旧本吉地区、南三陸地区（旧志津川）の3地区でメンマ作り体験会を開催することができ、今年度の目標である生産拠点を増加させることができました。また、県農業分野担当者や他管内の林業分野担当者も参加するなど、当管内林業分野のみならず、気仙沼メンマの輪が更に拡大しています。（あなたも是非!）

今後は、各生産拠点での体験会の継続とともに、販売先の開拓やネーミングの検討なども併せて実施し、生産者の更なる拡大を目指して活動してまいります。



体験会（気仙沼市松川地区）



体験会（気仙沼市本吉地区）



体験会（南三陸町志津川地区）

気仙沼線・大船渡線 BRT デジタルスタンプラリーを開催中です

(気仙沼地方振興事務所地方振興部)

令和6年7月20日（土）から10月31日（木）まで、岩手県大船渡地域振興センターと共同で気仙沼線・大船渡線BRTデジタルスタンプラリーを開催しています。ラリースポットは気仙沼線BRT及び大船渡線BRTの駅や沿線の観光スポットの15箇所（うち7カ所は気仙沼市及び南三陸町）で、設置されたQRコードを読み込んでスタンプを獲得すると、抽選で沿線の特産品などが当たります。

コミュニケーションアプリ「LINE」で簡単に参加できますので、ぜひBRTに乗車し、スタンプを集めてください。多くの皆様のご応募をお待ちしています。

詳細は気仙沼地方振興事務所地方振興部HPをご確認ください。

(<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-tihouken-e/2024brtstamprally.html>)



チラシ



QRコードを読み込んで
LINE公式アカウントを
友達追加!

QRコード



BRT